

みずほCustomer Desk Report 2024/04/26 号(As of 2024/04/25)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	155.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	155.28	1.0701	166.20	1.2461	0.6499
SYD-NY High	155.75	1.0741	167.09	1.2525	0.6539
SYD-NY Low	155.21	1.0679	165.94	1.2456	0.6486
NY 5:00 PM	155.65	1.0730	167.00	1.2513	0.6519
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,085.80	▲ 375.12	日本2年債	0.3000%	0.0000%
NASDAQ	15,611.76	▲ 100.99	日本10年債	0.8900%	0.0100%
S&P	5,048.42	▲ 23.21	米国2年債	4.9986%	0.0686%
日経平均	37,628.48	▲ 831.60	米国5年債	4.7180%	0.0571%
TOPIX	2,663.53	▲ 47.20	米国10年債	4.7030%	0.0561%
シカゴ日経先物	37,695.00	▲ 530.00	独10年債	2.6225%	0.0375%
ロンドンFT	8,078.86	38.48	英10年債	4.3645%	0.0320%
DAX	17,917.28	▲ 171.42	豪10年債	4.5150%	0.1150%
ハンセン指数	17,284.54	83.27	USDJPY 1M Vol	9.76%	0.35%
上海総合	3,052.90	8.08	USDJPY 3M Vol	9.36%	0.36%
NY金	2,342.50	4.10	USDJPY 6M Vol	9.41%	0.27%
WTI	83.57	0.76	USDJPY 1M 25RR	▲1.77%	Yen Call Over
CRB指数	297.66	0.56	EURJPY 3M Vol	9.16%	0.28%
ドルインデックス	105.60	▲ 0.26	EURJPY 6M Vol	9.42%	0.25%

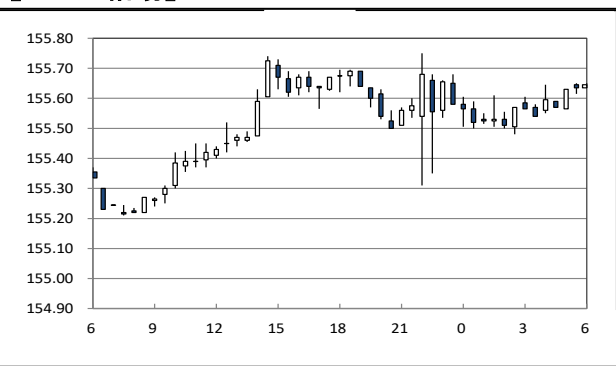
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月25日	14:00	日 景気一致指数・確報	2月 111.6	-
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q A 1.6%	2.5%
	21:30	米 個人消費	1Q A 2.5%	3.0%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	3月 -0.4%	0.3%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	20-Apr 207k	215k
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	3月 3.4%	0.4%

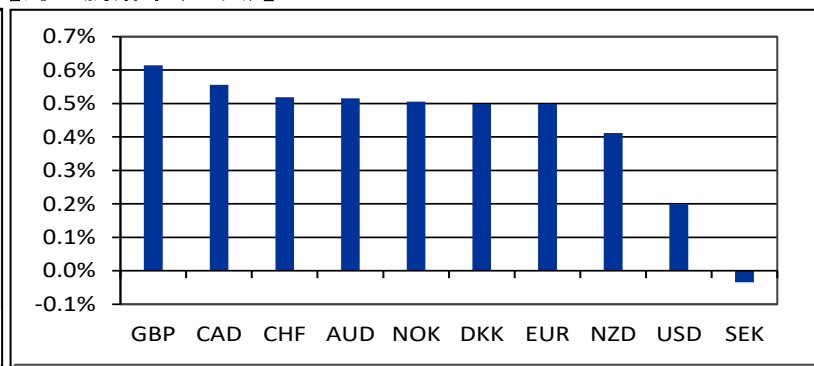
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月26日	08:01	英 GfK消費者信頼感	4月 -20	-21
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	4月 2.5%/2.2%/2.7%	2.6%/2.4%/2.9%
	10:30	豪 PPI 前年比/前期比	1Q -	4.1%/0.9%
	-	日 日銀金融政策決定会合・政策金利	4月 0.0% - 0.1%	0.0% - 0.1%
	15:30	日 日銀総裁記者会見	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	4月 77.9	77.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.00-157.00	1.0680-1.0780	159.00-168.00

【マーケット・インプレッション】

海外市場のドル円相場は155円台での小動きとなった。本日の日銀決定会合では展望レポートでの消費者物価指数の見通しについて上方修正が予測される。また国債買い入れの減額を期待する市場参加者も多い。先日、植田総裁は「円安で基調的な物価上昇が無視できない大きさの影響になれば金融政策の変更もありうる」と発言している。本日の会合では金融政策据え置きが主流の見方だが、会合後の総裁会見では足許の円安を踏まえた次の政策変更時期を模索する質問が飛び交うだろう。金融緩和継続との回答に終始すれば更なる円安進行の引き金となりうる。一方2022年9月には会合後に円買い介入が実施されており、介入警戒感は極度に高まっている。

東京	東京時間のドル円は155.28レベルでオープン。前日からのドル買い・円売りの流れを引き継ぎ、上値を試す展開に。鈴木財務相は足元の円安状況について「適切に対応する」との発言に留まり、終盤には155.74まで上昇し年初来高値を更新。結局155.62レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.62レベルでオープン。午後に米指標を控えて全般に方向感のない展開。155.56レベルでNYに渡った。本日、トルコ中銀が政策決定をし、市場の予想通りに1週間レポートを50.0%で据え置いた。強含みで推移していた通貨リラだったが決定後やや売られた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台前半でスタート。クロス円の上昇を横目に、ドル円も底堅い推移を見せ、155.74まで上昇。その後は伸び悩み反落し、155.56レベルでNYオープン。朝方に発表された米第1四半期GDP(改定値)が予想を下回るも、国内最終需要の部分では依然堅調な結果を記録した他、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を下回った事が相まって、米金利が大幅上昇する展開に追随し、155.75まで上昇し、連日の年初来高値を更新する。しかし、その後一部で報道された「日銀が国債購入の規模縮小措置を検討する」とのヘッドラインが伝わると、155.31まで円買いが進む場面もあったが、その後は米金利高が支えとなり、155円台半ばまで戻す。午後は日銀金融政策決定会合の結果発表を明日に控えている事から、155.60付近を中心とした様子見ムードが続き、155.65レベルでクロス。一方、海外時間のユーロドルは1.06台後半でスタート。じり高で推移し、1.0720レベルでNYオープン。朝方は先述の強い米経済指標の結果を受け、米金利の上昇が重しとなり、1.0679まで値を下げる。その後は米金利が上昇幅を縮小する動きがサポートとなり、1.0710近辺まで反発する。午後もドル売りの流れが続き、1.0739まで値を戻し、その後1.0730レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。